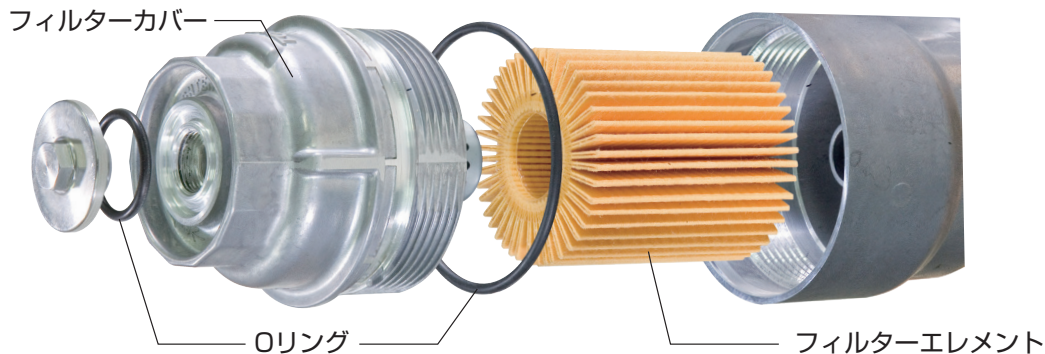


OIL FILTER

オイルフィルター リプレースタイプ(中身交換タイプ)

リプレースタイプ(中身交換タイプ)

ケースの中身であるフィルターエレメントとOリングなどの付属品を交換するタイプ。



リプレースフィルター交換ポイント

交換ポイント①

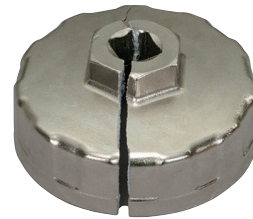
必ず規定トルクで締め付ける。

過度の締め付け(オーバートルク)を行うと、次回取り外す時にカップレンチが破損する恐れがあります。またアルミのフィルターカバーはネジ部の変形が起こりやすいので注意して下さい。締め付け時は必ずトルクレンチを使用して締め付け過ぎに注意して下さい。

カップレンチ



割れたカップレンチ



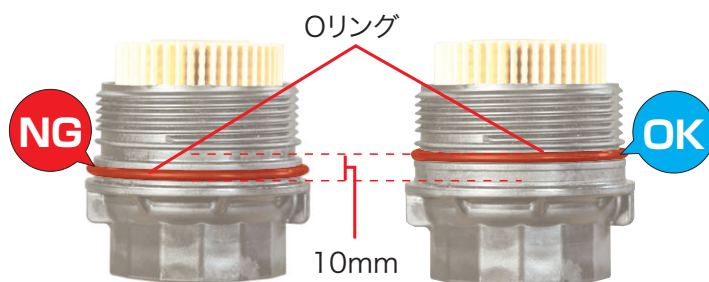
交換ポイント②

Oリングの取り付け位置を間違えない。

Oリングを間違った位置に装着するとオイルが漏れ、排気管に付着して火災につながる恐れがあるため注意してください。

※Oリングを引っ張らないこと。

Oリングが伸びると、復元に時間がかかります。トラブルの原因となるため、伸びてしまったら必ず復元したのを確認して下さい。



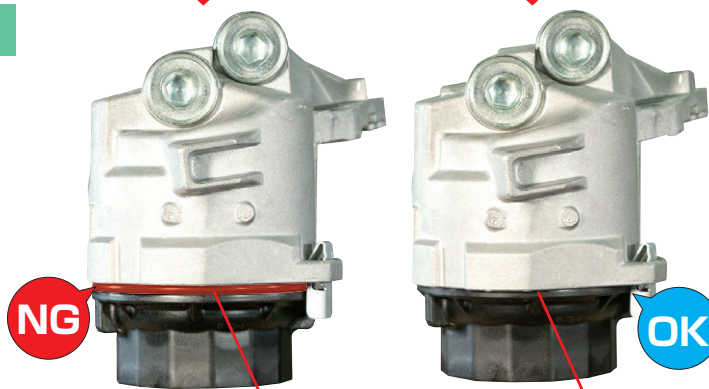
交換ポイント③

Oリングには必ず新しいオイルを塗布する。

新しいオイルを塗布しないとOリングが噛み込み、オイル漏れやフィルターキャップが外れにくくなります。



Oリングの噛み込み



Oリングはみ出し

Oリングが隠れている

リプレイスタイプ交換手順の一例

1

オイルフィルターケースの位置を確認します。

2

キャップ頭部のボルト
(オイル抜き用)を外します。
※Oリング(小)も取り外し
ます。(下向きの場合)



3

ボルトを取り外した後、付属の
オイル抜き用ドレンプラグを
取り付けフィルターケース内の
汚れたオイルを先に抜きます。



4

フィルターレンチを使用し、
キャップを外します。



- 取り付け面からの落下に注意
- センターチューブ外れに注意

落下してセンターチューブが外れる場合があります。



5

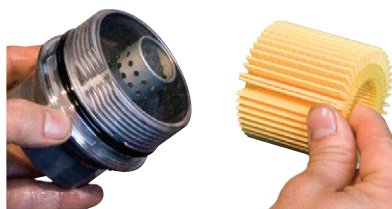
キャップを外した後、
Oリング(大)及び
フィルターを外します。



- ケース内部及びフィルターカバーをウエス等で清掃を行います。

6

新しいフィルター及び
Oリングを正しい
位置に装着します。
Oリングを伸ばさないよう
注意して下さい。



- Oリングには必ず新しいオイルを塗布し、引っ張らずに装着してください。

7

キャップをオイルフィルター
ケースに規定トルクで締め付け
た後、オイルを注入後エンジンを
始動しオイル漏れのないこと
を確認し、完了となります。



- 脱着時にフィルター周囲へ衝突しないように注意

